



事業シート（概要説明書）

様式1号

① 事業名	財政運営業務
② 細事業名	財政運営業務

総合計画体系	章	05自律協働都市	節	04行財政運営
担当部・課	総務部 財政課		事業開始年度	平成元年度以前
根拠法令	地方自治法第233条			

③ 事業内容 (手段・手法など)	この業務経費の主な執行内容は、「歳入歳出決算書」、「予算執行の実績及び施策の成果」の製本。 「歳入歳出決算書」は、様式が法令で定められている。また、「予算執行の実績及び施策の成果」については、様式は定められていないものの議会への提出は法令で定められている。いずれの冊子も市の決算審査を行うための基本的な資料となる。																
④ 目的 (何のために)	「予算執行の実績及び施策の成果」の冊誌は、議会における決算審査が単なる数字の審査にとどまらず、事業の成果についても積極的に検討が加えられることを目的として作成される。																
⑤ 対象及び人数 (誰・何を対象に)	「予算執行の実績及び施策の成果」の製本																
⑥ 現在の実施方法	①職員にて掲載資料の編集(歳入歳出決算書:財務会計システムからの出力、予算執行の実績及び施策の成果:各課にて内容を作成) (詳細:) ②印刷業者にて製本																
⑦ コスト	平成23年度予算	直接経費(A)の内訳															
	直接経費(A)	1,308 千円	印刷製本費:850千円 消耗品費:388千円 その他:70千円														
	人件費(B) ※(C)+(E)	826 千円	内訳	<table border="1"> <tr> <td>担当正職員:概算人件費(C) (H22決算平均給与8,260千円×従事職員数)</td> <td>826 千円</td> <td>従事職員数(D)</td> <td>0.1 人</td> </tr> <tr> <td>臨時職員他(嘱託・アルバイト)人件費(E)</td> <td>0 千円</td> <td>従事職員数(F)</td> <td>0 人</td> </tr> </table>	担当正職員:概算人件費(C) (H22決算平均給与8,260千円×従事職員数)	826 千円	従事職員数(D)	0.1 人	臨時職員他(嘱託・アルバイト)人件費(E)	0 千円	従事職員数(F)	0 人					
担当正職員:概算人件費(C) (H22決算平均給与8,260千円×従事職員数)	826 千円	従事職員数(D)	0.1 人														
臨時職員他(嘱託・アルバイト)人件費(E)	0 千円	従事職員数(F)	0 人														
総コスト (A)+(B)	2,134 千円	<table border="1"> <tr> <th colspan="5">財源内訳(収入)</th> </tr> <tr> <td>国・府からの補助金等</td> <td>0円</td> <td>使用料・手数料</td> <td>0円</td> <td>一般財源(市債含む)</td> <td>2134千円</td> <td>その他</td> <td>0円</td> </tr> </table>			財源内訳(収入)					国・府からの補助金等	0円	使用料・手数料	0円	一般財源(市債含む)	2134千円	その他	0円
財源内訳(収入)																	
国・府からの補助金等	0円	使用料・手数料	0円	一般財源(市債含む)	2134千円	その他	0円										
⑧ 対象事業の抽出の視点 (選考優先順位)	<p>◎ 見直しを検討している事業</p> <p>◎ 市単独事業</p>																

⑨ 目標 (目指すところ) ※より具体的に記入	議会における決算審査をうけるための書類にとどまらず、説明責任と透明性の確保の一層の向上を主眼として、行政活動内容について市民の方々にも十分理解いただけるような説明資料の作成を目指す。	
⑩ 事業の現状	1年間で実施した事業及びその経費の詳細を、議会に報告し審査をうけるための書類として、「歳入歳出決算書」や「予算執行の実績及び施策の成果」を作成している。「歳入歳出決算書」とのページとの関連性がわかりにくい。行政用語が多く分かりにくい。大半が文章であり読みにくいなどの内容である。	
⑪ 目標と現状の差 (課題) ⑨-⑩	議会において審査をうけるための書類として、また、市民にとっても十分理解頂けるよう分かりやすく読みやすい内容で作成する必要がある。	
⑫ 解決策と論点 (⑪の課題の解決策と問題点)	<p style="text-align: center;">市側の事前論点</p> <p>【解決策】</p> <p>「歳入歳出決算書」については、様式が法令で定められており、内容の変更は不可。 「予算執行の実績及び施策の成果」については、本年度平成22年度決算分より内容の見直しを実施している。</p> <p>【論点】</p> <p>①「予算執行の実績及び施策の成果」については、経費削減のためページ数の増加は困難である。 ②内容が大雑把になると必要な情報が得られず、逆に細かくなりすぎると読みにくくなる。 ③「歳入歳出決算書」との整合の視点に立って、情報内容の精査を行うとともに、市民目線での見やすい編集が必要である。</p>	<p style="text-align: center;">最終論点</p> <p>※ 事前概要説明会開催後に記入</p>

様式2号

目指すべきところ

議会における決算審査をうけるための書類にとどまらず、説明責任の一層の向上と透明性の確保を主眼として、行政活動内容について市民の方々にも十分理解いただけるような説明資料の作成を目指す。

現状と問題点

【歳入歳出決算書】

【予算の執行の実績及び施策の成果】

分かりにくい原因

- ・「歳入歳出決算書」のページを検索しにくい
- ・行政用語が多く、分かりにくい
- ・大半が文章であり、読みにくい

議会での決算審査の説明資料

対策と計画

【平成23年度見直し項目】 (平成22年度執行分)

事業の説明に【決算書ページ】の項目を追加

行政用語などの説明

写真やイラストの挿入

【平成24年度以降見直し項目】

- ① 庁内での他の類似書類の統合（経費の削減）
- ② 予算編成にも活用できる書類

